

(様式3)

外国人児童生徒等教育アドバイザー派遣結果報告書

都道府県名	兵庫県	市町村名	たつの市	大学名	
派遣日	令和 2年 9月 16日(水曜日) 13:45~16:30 ※派遣当日の日程を詳細に記入してください。 ※派遣当日の次第、研修実施要項・日程表等、日程の詳細が分かる資料を添付してください。				
実施方法	※いずれかに○をつけてください。 (派遣) / 遠隔				
派遣場所	たつの市立誉田小学校				
アドバイザー氏名	櫻井 千穂				
相談者	・放課後日本語指導教室支援員 ・日本語指導が必要な児童生徒が在籍するたつの市内小中学校教職員 ・たつの市多文化共生サポートセンター相談員 ・たつの市教育委員会				
相談内容	・来日間もない時期から、日本語指導はどういう手順で進めていくのか。 ・日本語指導が必要な児童生徒は、どこにつまずくのか ・生活言語と学習言語の能力を伸ばすためにどんな指導法が効果的か ・在籍学級での教科指導で、一斉指導の際にどのような手立てをすればよいのか ・児童生徒の学習環境を整えるために、何をすればよいのか				
派遣者からの指導助言内容	1 日本語指導に係る理論 ・言語習得にかかる時間は、母国語の言語力によって異なり、8歳以前に入国の場合の方が長い年月が必要である ・日本語と母国語は、表層に表れるときは使い分けられているが、深層面でつながっている ・複数言語の習得は、学習環境要因や生育環境・家庭環境要因、学習者要因など複数の要因が影響している ・児童生徒間の環境づくりのために、学校の中で支援体制を築くことが必要である ・母国語での知識を活用し、認められる機会を増やすことが大切である ・2つの言葉と文化を持つことができるという自尊感情を育てる 2 日本語指導に係る実践 ・長期目標と中期目標を定める ・JSL評価参照枠のどのステージにいるのか、現状把握をする ・週1回の支援だけでなく、学校や在籍学級との連携が必要である ・予習型の支援を行うことで、在籍学級で活躍する場が増える ・多読をすることで、読書カレベルが上がる ・体験型学習、ワークシートの工夫、リライト教材の使用が有効である				
相談後の方針の変化、今後の取組方針等	1 学校・在籍学級との連携 ・日本語指導が必要な児童の情報共有を行う ・予習型の支援をするために、授業の進度や内容の確認を行う 2 予習型の学習支援 ・主に国語科において、予習を中心とした学習支援に切り替える 3 研修の充実 ・日本語指導経験者による助言、日本語指導に関する講師招聘 ・兵庫県教育委員会主催の日本語指導者養成研修会への参加				

1枚にまとめる必要は、ありませんので、詳細に記載願います。なお、本報告書の内容は、文部科学省ホームページで公開いたします。